

第1学年国語科学習指導案

1 日時 令和3年11月19日(金) 2校時(9:35~10:20)

2 学年・組 第1学年1組(22名)

3 単元名 保育園に行つて自動車図鑑を紹介しよう「じどう車くらべ」

4 単元の目標

- (1) 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア)
(知識及び技能)
- (2) 事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(C(1)ア)
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(C(1)ウ)
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

5 単元で取り上げる言語活動

事物を説明した文章や図書資料などを読み、分かったことを自動車紹介カードにまとめる。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	①「読むこと」において、事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ②「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	① 進んで事柄の順序を考えながら、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿って文章や図書資料などを読み、分かったことをまとめようとしている。

7 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、これまでに「くちばし」「うみのかくれんぼ」を読み、説明的な文章には「問い」と「答え」があること、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉えることを学習してきた。また、説明的な文章を読むときには、事柄の順序を考えながら読むことと、大事な言葉を見つけながら読むことが大事であるということ意識して学習に取り組んできた。しかし、「問い」と「答え」を見つけていく際に、言葉の意味をきちんと理解せず、形式的に見つけようとする児童や、ただ読むことに終始してしまい大事な言葉を見つけられない児童もいる。

(2) 教材観

本教材は、1年上巻「うみのかくれんぼ」と同様、「問い+答え+答え+答え」という列挙型の構成になっている説明的な文章である。「どんな仕事をするのか」、そのために「どんなつくりになっているのか」という問いが二つあるため、二つの段落に分けて書かれており、分かりやすい構成となっている。次に「書くこと」の単元「じどう車ずかんをつくろう」があり、本単元で学習したことを活用して、他の自動車についても図書資料を読み、文章の中の重要な語や文は何かを考えて選び出したり、構成を考えて文章を書いたりすることができる。

(3) 指導観

「しごと」と「つくり」を読み取る際には、それぞれの違いが可視化できるように色分けして作成していく。また、教科書の本文を一枚ものの教材文シートにすることで構成を捉えやすくする。さらに、「しごと」とそのための「つくり」を捉えやすくするために、本文と絵を対応させたり動作化したりする活動を積極的に仕組んでいく。

言語活動としては、働く車に関する図書資料を並行読書として読み、自分で選んだ車の「しごと」と「つくり」を見つけて紹介カードにまとめる活動を設定する。また、最終的に自分で選んだ車についてまとめた「じどう車ずかん」を保育園児に紹介することを学習のゴールとして児童に見通しをもたせる。必要な情報を選ぶ力を着実なものにしていくとともに、児童に相手意識をもたせることにより、就学前の年長児にとって分かりやすい紹介カードになるような工夫を考えさせていきたい。

8 単元の指導計画（11時間扱い）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
0		○自動車に関する本のブックトークや読み聞かせをする。 ○自動車のおもちゃを教室に置き、親しむ。	・ブックトークを行った り、ミニカーで遊ばせたりして興味関心を引き出す。	
一	1	○自動車の種類について、知っているものを話し合う。 ○範読を聞き、出てきた自動車や説明されていることについて確かめ、学習課題を設定する。	・挿絵を見せ、参考にさせる。 ・挿絵を参考にさせながら、自動車の種類を確認させる。また、「しごと」だけでなく、「つくり」についても説明されていることを押さえ、学習課題を設定する。	
二	2	○問いの文や自動車について確かめ、文章全体の構成と内容の大体を捉える。	・問いが二つあることを確かめる。また三つの事例を挙げて答えが書かれていることを押さえる。	◎「しごと」に合った「つくり」が説明されていることに気付いている。〔知①〕 【発言・自動車紹介カード】
三	3 ・ 4 ・ 5 本 時	○それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、自動車紹介カードをつくる。 〈本時5（クレーン車）〉	・なぜその「つくり」になっているのか、「しごと」と関連付けて考えさせる。	◎それぞれの自動車の説明を読み、「しごと」と「つくり」を捉えている。〔思①〕 【発言・教材文シート・自動車紹介カード】 ◎それぞれの自動車の説明を読み、「しごと」と「つくり」を考えて選び出している。〔思②〕 【発言・教材文シート・自動車紹介カード】
四	6 く 11	○本などを使って紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」について調べ、自動車紹介カードを書く。	・これまでの学習を想起させながら、説明に必要な箇所を抜き書きするよう指導する。	◎「しごと」と「つくり」の関連を考えている。〔知①〕 【発言・自動車紹介カード】 ◎進んで事柄の順序を考えながら、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿って文章や図書資料などを読み、分かったことをまとめようとしている。 〔主①〕 【発言・自動車紹介カード】

9 主体的な伝え合いのために

主体的な伝え合いを行っていくために、1年生は4月から、基本的な「話し方」や「聞き方」を定着させるよう指導してきた。友達に自分の考えを伝えたり、相談したりするときの姿勢や反応の返し方などが少しずつ定着してきている。

本単元では、児童一人一人が自分で車を選ぶことで、見つけた「しごと」と「つくり」を友達や保育園児に伝えたいという思いをもつことが主体的な伝え合いにつながると考える。また、単元を通して、自分が線を引いた教材文シートや自動車紹介カードを友達と見合い、お互いにアドバイスをしたり確認をしたりする場面を繰り返し設定していく。

<主体的な伝え合いを目指す指導系統表>

	低学年	中学年	高学年
目的	・友達のよいところを見付ける。 ・友達と話をつなげる。	・自分の考えと友達の考えを比べる（共通点・相違点）。	・自分の考えを広げたり、まとめたりする（整理・関係付ける）。
方法	・ペアトーク	・グループトーク ・学級全体で話し合う。 （司会を立てて、順番を決めて等）	・フリートーク ・それぞれの立場から伝える。
内容	・友達と確かめる。 ・感想を伝え合う。 ・紹介する，説明する，報告する。	・グループに分ける。 ・調べたことを伝え合う。 （説明，報告等）	・意見や提案を伝え合う。
場	感想の交流・集団解決・振り返り・発表会・報告会 など		
日常の継続的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝^{てん}え^{えん}合^{ごう}い^いを^を支^しえ^える^る ・ 亀っ子10（まなびの約束） ・ 亀崎メソッド ・ 亀崎いっぱい運動（時間いっぱい話す・文をいっぱい読む・マス目いっぱい書く） ・ 聞き方名人・話し方名人（つながり発表） ・ 読書の記録（「言葉のたから箱」のことばを使って書く。）年間20冊以上を目標 		

10 本時の学習（第二次5時）

(1) 目標

説明を読み，クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。

(2) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1 前時までの学習を振り返る。	・前時までにまとめた車の仕事とつくりを確かめる。	
2 学習課題を確認する。		
めあて クレーン車のページをかんせいさせよう。		
3 クレーン車の絵を見て，分かることや知っていることを書き込む。	・自分の経験や教室に置いてあるミニカーで遊んだ経験を想起させる。	
4 教材文から「しごと」と「つくり」を見つける。	・教材文を読み，「しごと」が書かれているところには赤線，「つくり」が書かれているところには青線を引かせる。	◎説明を読み，クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えている。 【思①】 【発言・教材文シート】

5 見つけた「しごと」と「つくり」を伝え合う。

伝え合う



6 自動車紹介カードにまとめる。

7 まとめと振り返りをする。

<主体的に伝え合うために>

- ・ペアでどこに線を引いたのか確認させる。
- ・絵と文を対応させながら、「うで」「あし」を確認する。
- ・「のびたりうごいたりする」様子は動作化してみせる。
- ・なぜその「つくり」になっているか話し合わせる。

- ・園児にとって分かりやすくなるように挿絵に情報を書き込むなどの工夫をするよう促す。